

テーマ：公共交通のバリアフリーの取り組み

講師：長崎自動車株式会社 長崎バス 自動車部 営業課 井出毅氏

H29.08.26 AM10:30-PM12:00 ハートセンター5階会議室

講師:1名 参加者:3名 NPO:2名 計:6名

【内容】



今回のテーマは、「公共交通のバリアフリーの取り組み」と題し、長崎自動車株式会社 長崎バス 自動車部 営業課 井出毅氏が講師で、リフト対応バス導入等を含め、どの様にバリアフリーに対し、取り組み、対応されているかについての話を伺った。

近年のバリアフリー新法やユニバーサルな利用に柔軟的に対応するため様々な工夫が行われていることが理解できた。近年のベビーカーや外国人の荷物の対応や案内表示・また・筆記による対応。社内やバスセンターにおける漢字振り仮名等の多言語表示などに積極的に取り組まれていることが理解できた。

特に車いす対応の低床バスの導入の割合は、5割に近く利用の関係者に対しての事で、長崎の道路環境により、十分な乗降の環境が整っていないため、乗降に対しては、利用可能なバス停の制限がある事や特に20年を目安として、新車の低床バスが各運転者に自動車割り当てられ、運転者勤務により固定した路線を定時の時間に運行され難い点の問題は、各会社にゆだねられているため難しいと話であった。

今年、車いす対応で介助スタッフ4名の体制で、高速でも走行可能な旅行向けリフト〔車いす2台+一般座席33席〕付きバスが導入されたが、現在、月当たり平均3回位しか稼働運行されていないことは、バリアフリーの旅行の環境も含め、今後の課題と感じた。

【アンケート回答】

A.内容に対する感想の度合 3/3 回答

大変参考になった3件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- また時折開催してほしい。
- 役立つ情報だった。
- 観光用の貸し切りバスにリフト付きのものもあることを知れてよかった。
- 長崎バスさんのバリアフリーに関する取り組みを詳しく知る事が出来た。
- 長崎バスさんのバリアフリーへの前向きな取り組みを聞く事が出来、また、私たちの質問や意見を丁寧に対応していただきました。

G.職種分野

教育2名 障がい者及び家族関係者1名

H.職種 所属・資格等

教諭〔特別支援学校〕1名

特別支援学校 事務職1名

障害者 又はその関係家族・関係者 1名

I.開催の情報の入手の媒体

お知らせメール 2件 知合い・職場 1件

J.今後の興味（複数回答あり）

教育 1件 就労 1件

福祉情報支援セミナー事業
《リビング福祉セミナーコース》